

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

※ あてはまる□を☑または■で選択してください。

1. 学校概要

学校名 豊橋市立高豊中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒441-3211
 愛知県豊橋市伊古部町原24-1

E-mail takatoyo-j@toyohashi.ed.jp

Website <http://www.takatoyo-j.toyohashi.ed.jp/takatoyo-j/index1.html>

児童生徒数 男子 181名 女子 166名 合計 347名
 児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について。

① 行事・特別活動での取り組み

ア. 表浜海岸クリーン活動

実施日 2015(平成27)年5月22日(金)

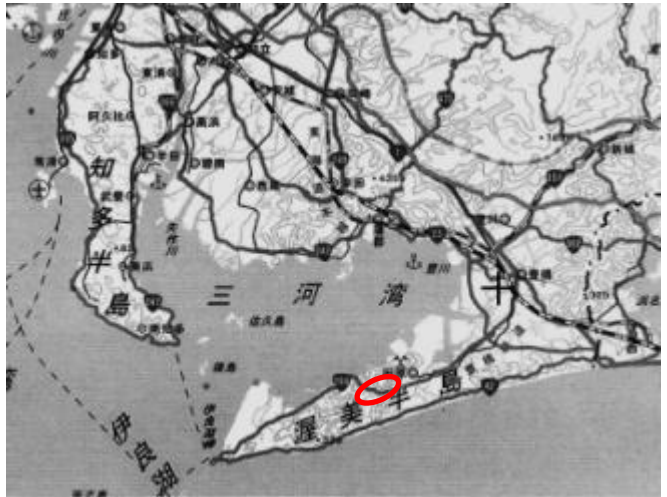
アカウミガメの上陸する豊橋市表浜海岸(校区)のごみ、特にウミガメの誤食対象となるビニールごみなどを片付ける。

対象範囲は約2kmの砂浜(右図赤丸部参照)。

表浜の汚れを訴える生徒の声から始まった、昭和61年度から続く、本年度で30年目を迎える生徒会活動である。

全校生徒(347名)・職員(20名)が参加した。保護者(PTA)

には、ごみの分別回収処分に対し(地理院地図 <http://www.gsi.go.jp/> をもとに作成)してご協力いただいた。



イ. ササユリ保全活動

地域で活動する伊古部町笹百合保存会の活動に、ボランティアとして参加する。笹百合保存会の活動は、本年度で20年目を迎える。本校生徒が参加し始めて、本年度で11年目になる。開花期の6月上旬に開催されるささゆり祭りでは来場者の接待をしている。また、秋の植え替えや圃場での栽培などの手伝いを保存会の方々とともにしている。

実施日 2015(平成27年)6月6日(土)、7日(日) : ささゆり祭り
2015(平成27年)10月31日(土)、11月7日(土)

a ささゆり祭り

ササユリの花を見に来る市民や県内外の来場者に対して、湯茶の接待サービスや花卉の販売を行う。販売で得た収益は、ささゆり保存会の活動資金となる。

2日間の活動に、のべ179名の生徒と3名の職員が参加した(全校生徒数347名)。



b 圃場の整備とササユリの植え替え

ササユリの種子を播種して株を育てる圃場で、植え替えの作業をする。また、イノシシに荒らされたささゆりの里の中の区画に、イノシシ除けの忌避剤を設置するとともに、株がなくなってしまった場所にささゆりを植栽する。

のべ123名の生徒と職員4名が参加した。



海岸クリーン活動やササユリ保全活動を長年にわたり継続し、地域の方々とふれ合いながら協働してきたことにより、地域の一員としての意識を高めることにつながっている。また、地域の自然の豊かさや美しさを実感し、地域の方々と保護活動に取り組もうとする意識と実践力を高めることができている。今後もこの活動を継続、発展させていく。

② 授業での取り組み

ア. 持続可能な社会のあり方を考えさせる授業実践【中学3年社会科】

持続可能な社会のあり方を考え、社会の一員としての判断力・実践力の育成を図るために、校区にある廃棄物最終処分場を地域教材として開発し、授業実践をした。

生徒は、豊かな暮らしのために欠くことのできないごみ処理問題のよりよい解決方法を探るために、市の統計資料を調べたり、市の担当職員や地域住民等への聞き取り調査を行ったりした。調査後、最終処分場の新設とその立地に関わる諸課題等について、公共の福祉と地域に与える影響、現時点の問題点と将来に対する問題点等を視点に、話し合いを深めた。本授業実践を通して、公共の福

社をもとに持続可能な社会の仕組みを考えることの大切さや難しさ、社会の一員として自分自身で考え、判断することが主権者として大切であることなどに気づかせることができた。

イ. 地域の自然環境の豊かさを実感させる授業実践【中学3年理科】

地域の自然環境の豊かさを、生態系の仕組みから実感・理解させることをねらい、校区の表浜海岸の断崖上に発達する照葉樹林の林床から腐葉土を採取し、生徒に土壌生物の観察をさせた。土からは、土壌動物や菌類などの存在を確認することができた。また、それらが生態系の中での物質とエネルギーの循環を担っていることについて理解を深めることができた。一方、土からは、砂浜に打ち上げられた海草等の分解をするヨコエビなどの小動物も観察でき、生物多様性の側面から見た地域の特性にも気づかせることができた。

③ 活動成果の発信

日本環境教育学会第26回大会（8月21日（金）～23日（日） 名古屋市立大学）において、本校の環境教育の実践をポスター発表

笹百合保存会へのボランティア参加と、表浜海岸クリーン活動を中心に、本校の環境教育実践をポスターで発表した（担当教諭）。

④ 研究活動への協力

ササユリの分子系統分析研究（明治大学花卉園芸研究室）

渥美半島のササユリは、葯の色や花卉の色など独特の特徴を有している。現在生育が確認できている主な生育地は笹百合の里と田原市滝頭公園である。その両地点でのサンプリングに協力した（担当教諭）。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

■ 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

■ 時間外活動の時間を使用

□ ユネスコクラブの活動として実施

□ その他（）